

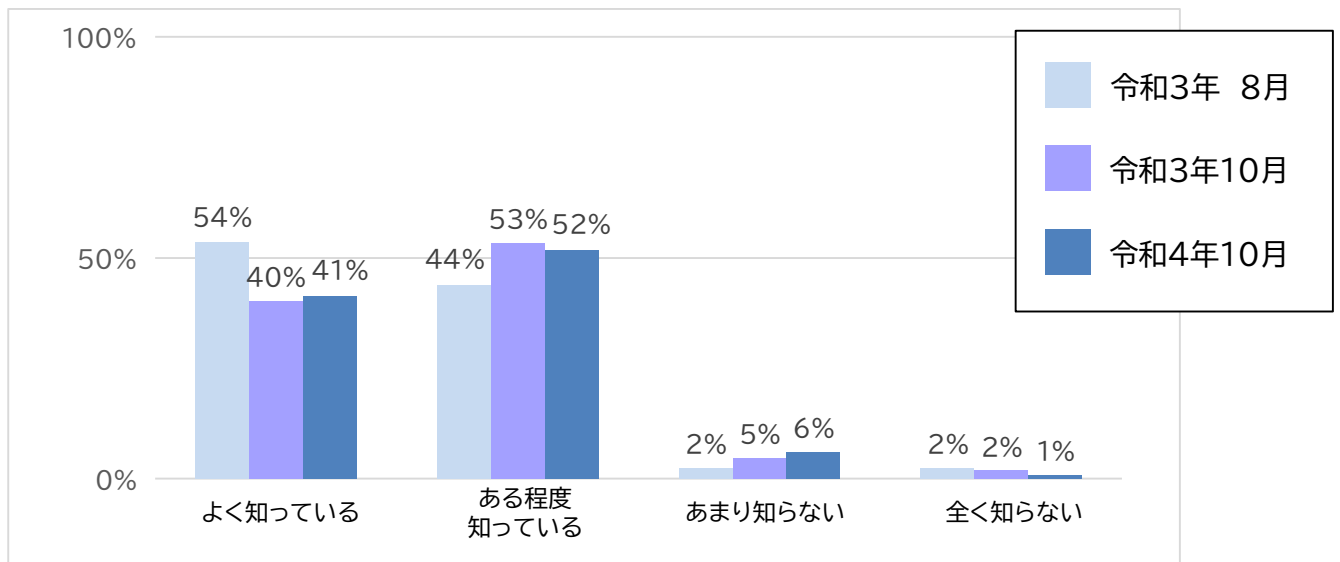
食品ロスに関するアンケート実施結果推移

令和3年8月、10月、令和4年10月に実施したフードドライブにおいて、食品ロスに関するアンケート調査も併せて実施しており、その結果の推移についてまとめたもの。

回答件数

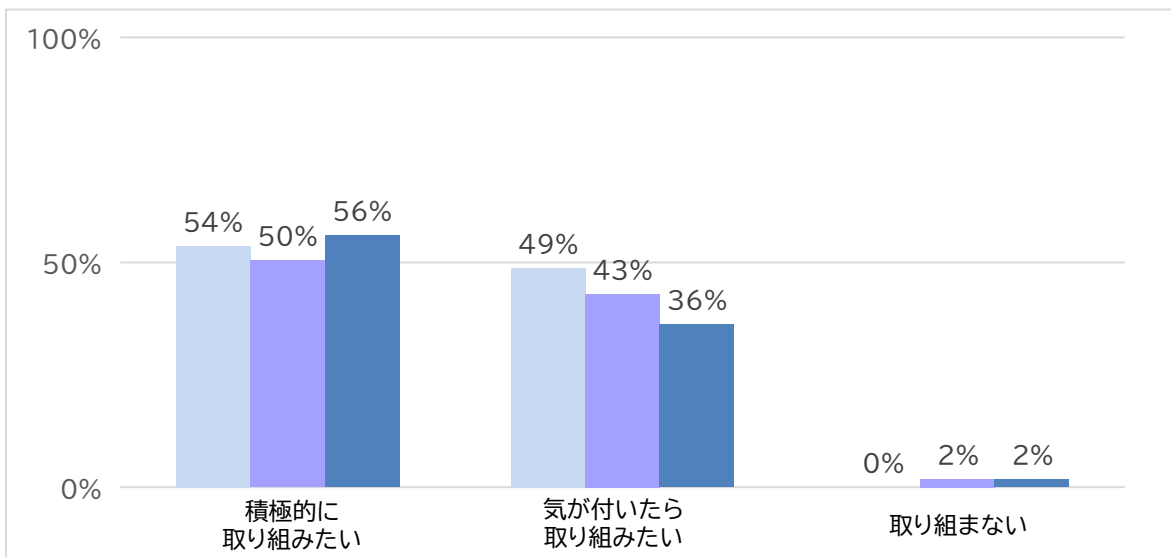
	令和 3年		令和 4年
	8月	10月	10月
回答件数	92 件	123 件	141 件
(うち、室蘭市民)	42 件	107 件	116 件

【質問】「食品ロス」が社会問題となっていることをご存じですか？



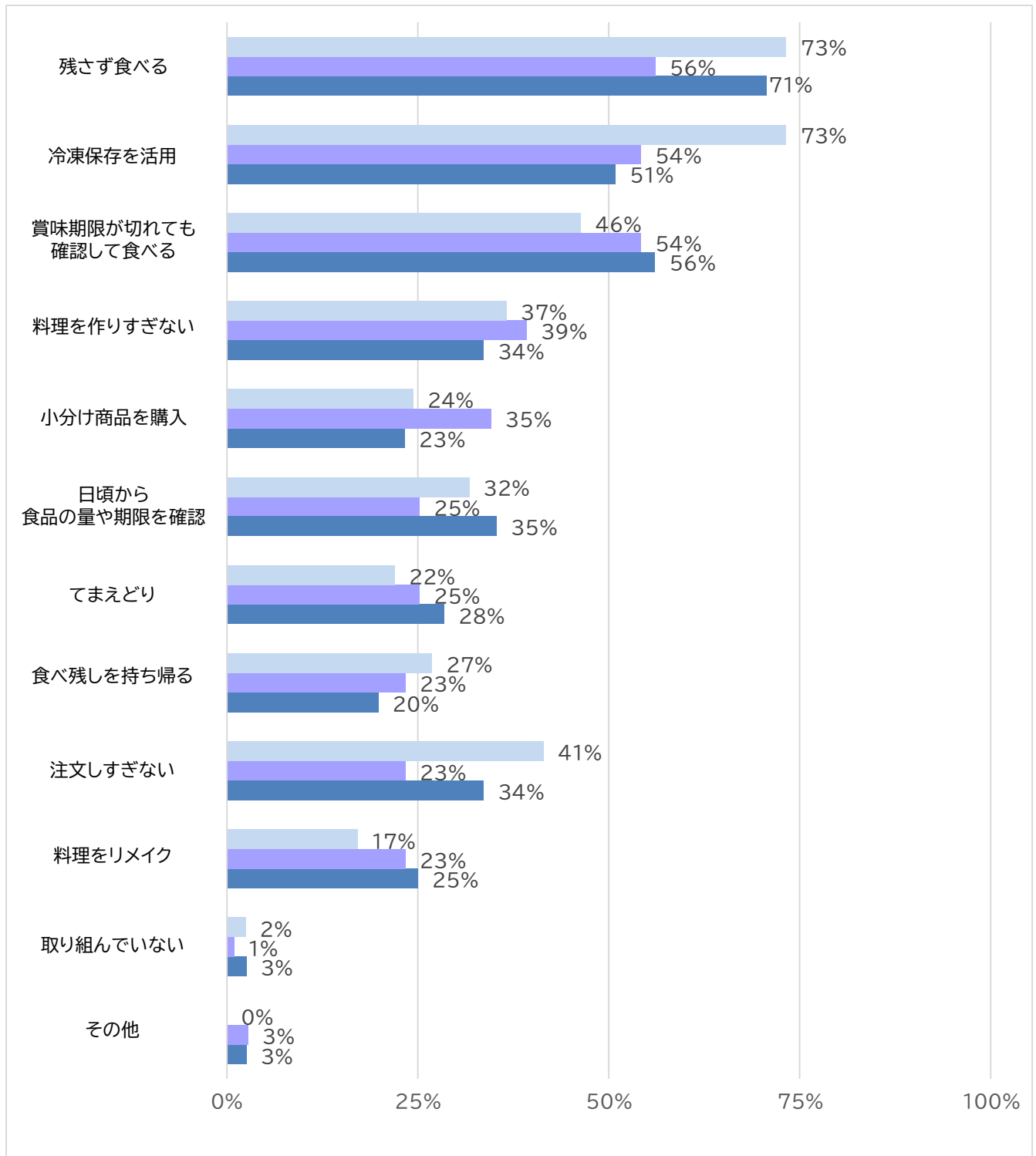
「よく知っている」と「ある程度知っている」が大多数を占めた。
「よく知っている」の割合が増加するよう、今後とも市民周知に取り組んでいく。

【質問】「食品ロス」を減らすため、今後取り組もうと考えていますか？



「取り組みたい」という回答が大多数を占めた。
「積極的に取り組みたい」の割合が増加するよう、手軽にできる取り組みの紹介などを推進していく。

【質問】「食品ロス」を減らすために取り組んでいることは何ですか？（複数回答）

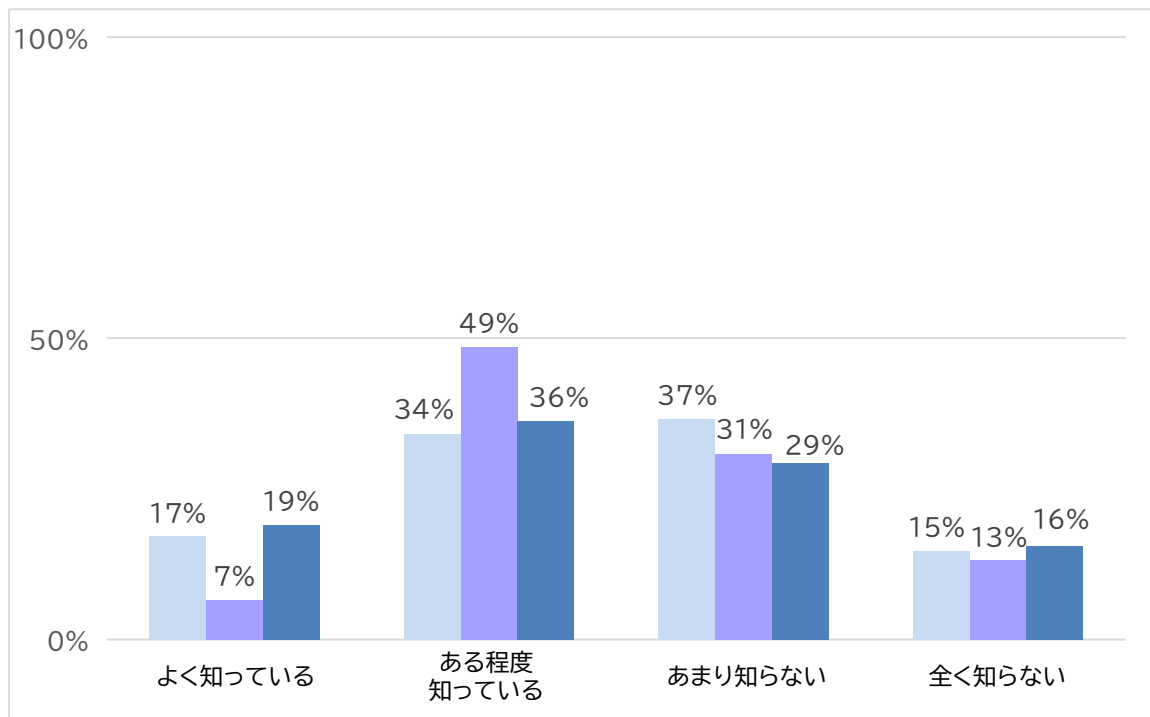


「食べ残しを持ち帰る」が減少している一方で、「残さず食べる」と「注文しすぎない」が増加しているため、飲食店において、適切な量を注文し食べきることを意識する市民が増えたため、食べ残しを持ち帰ることが減少し、このような推移になっているのではないかと推察できる。

他にも「日頃から食品の量や期限を確認」、「てまえどり」、「料理をリメイク」の割合が増加傾向のため、これら取組の市民周知が進んでいるのではないかと考えられる。

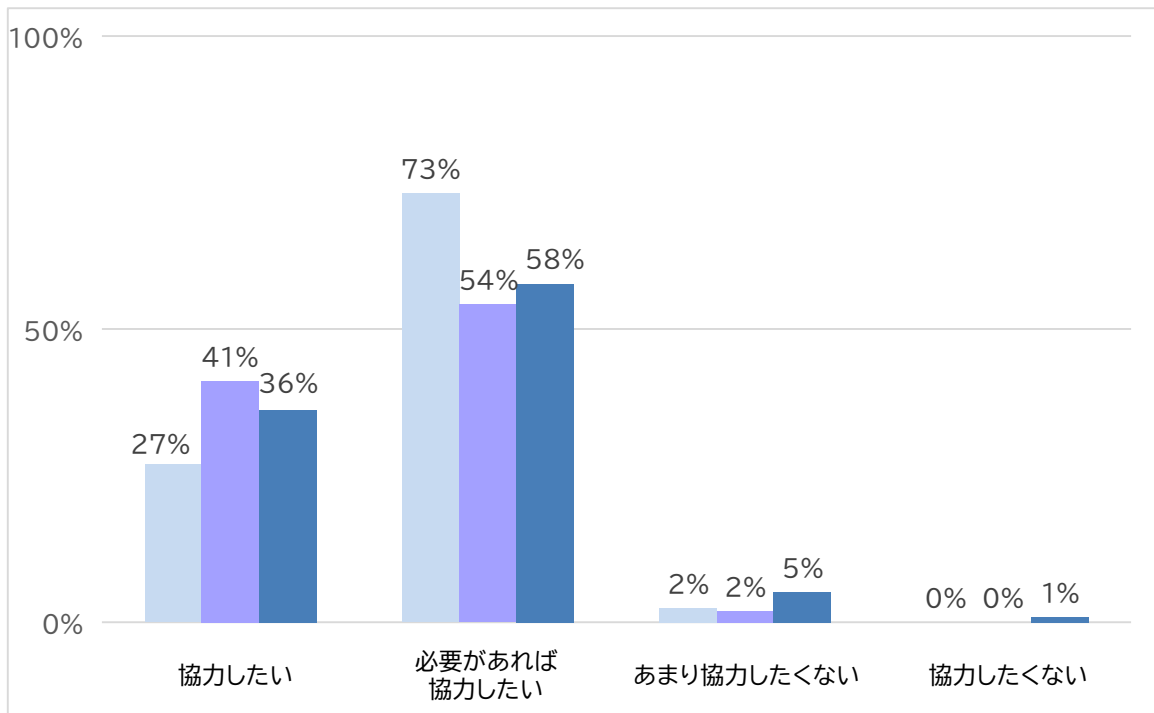
今後も市民周知を行い、各取組の割合増加を目指す。

【質問】「フードドライブ」を知っていますか？



「よく知っている」の割合は増加している一方で、「あまり知らない」と「全く知らない」を足した割合が45%程度で推移している。「よく知っている」または「ある程度知っている」の割合が増加するよう、今後ともフードドライブの市民周知を行う。

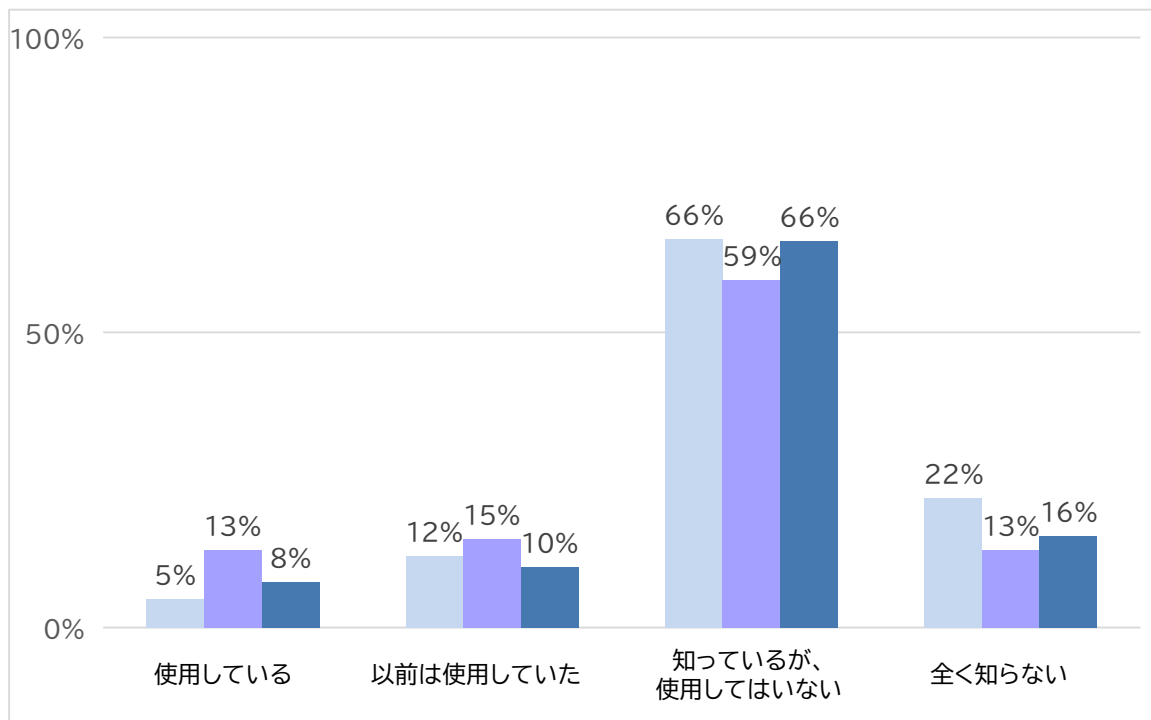
【質問】「フードドライブ」に協力したいと思いますか？



ほとんどの回答が「協力したい」または「必要があれば協力したい」とフードドライブに対する協力意識が高いことがわかる。

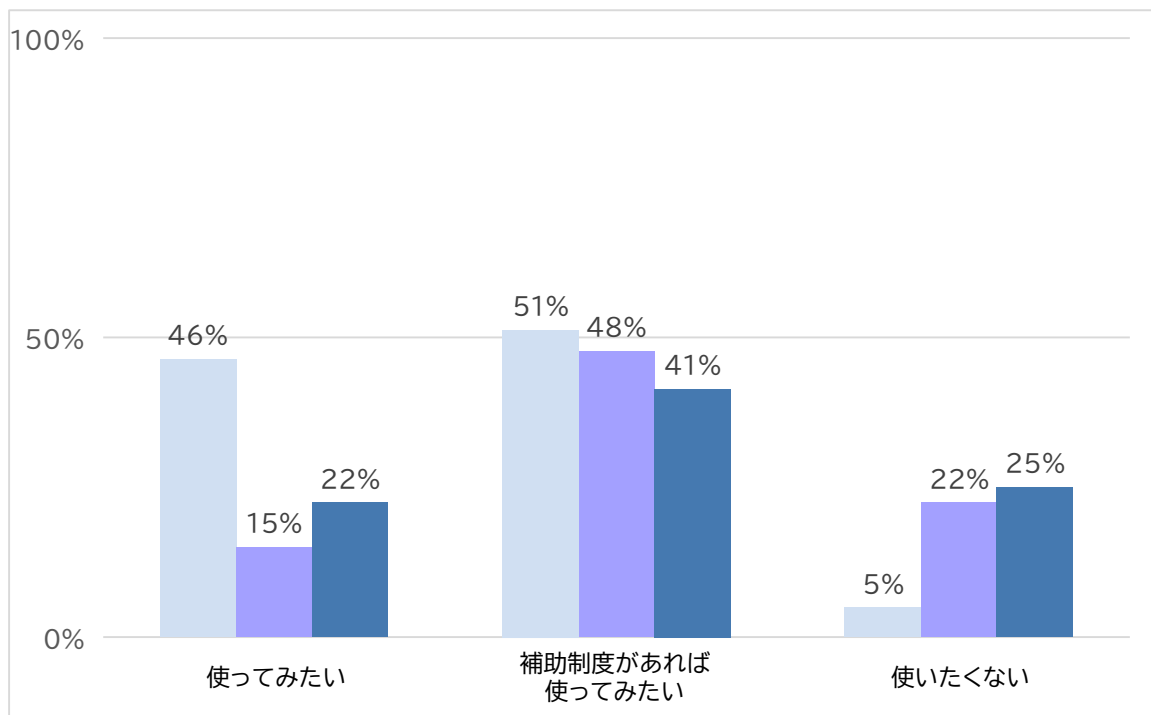
先の設問の回答から「フードドライブはよく知らないが、やっているのであれば協力したい」という傾向が読み取れるため、フードドライブの活動内容について周知を推進していく。

【質問】「生ごみ処理機」を知っていますか？



生ごみ処理機を「知っている」割合は多いが、一方で「使っていない」の割合も多い。
生ごみ処理機を使用することによるメリットを十分周知させることができれば、
今後、使用している市民の割合を増加させることができると考えられる。

【質問】「生ごみ処理機」を使ってみたいと思いますか？



補助制度も含め「使ってみたい」という回答の割合が高い。
一方で、「使いたくない」という回答が増加傾向かつ25%近くあるため、
使いたくない理由について分析する必要があると考えられる。